

津北部地域海岸堤防と道路の整備について

1 堤防

(1) 海岸堤防の現状

津市の海岸堤防は、昭和 28 年の台風 13 号と昭和 34 年の伊勢湾台風による被害を契機として昭和 28 年度から昭和 39 年度にかけて災害復旧事業として整備され、築造から 50 年以上経過し老朽化による防護機能の低下が懸念されています。

津松阪港海岸については、平成 4 年度から平成 21 年度にかけて津南部の香良洲地区、平成 14 年度から平成 23 年度にかけて津地区の贅崎工区の海岸堤防を直轄海岸保全施設整備事業として国が実施しました。

また、平成 23 年度には津地区の栗真町屋、阿漕浦・御殿場工区が新規事業として採択され、現在、整備が進められています。

一方、栗真地区海岸から千里地区海岸までの津北部地域海岸堤防は、県管理の海岸の約 5 km（栗真地区海岸・白塚地区海岸・上野地区海岸・千里地区海岸）と市管理の漁港区域内の海岸の 2 km（白塚漁港海岸・河芸漁港海岸）の計約 7 km で、堤防高が不足しており、ひび割れなどの老朽化も進んでいます。

(2) 海岸堤防の進捗状況

ア 県管理海岸堤防の整備

三重県は、平成 23 年 3 月 11 日に発生した東日本大震災を受けて、平成 23 年度に県内の海岸堤防において老朽化調査を行い、平成 24 年度は白塚地区海岸の 1 か所及び上野地区海岸の 1 か所、平成 25 年度は栗真地区海岸の 4 か所及び上野地区海岸の 1 か所において空洞箇所の充填補修など緊急対策工事を実施しました。

津市は、平成 23 年度から県政に対する要望で、白塚町以北の県管理の海岸堤防について、津波等の震災に対応した整備を強く要望するなか、県は栗真町屋海岸で既に直轄事業が動いていたこともあり、平成 25 年度から千里地区海岸の地質調査に着手し、平成 26 年度に上野地区海岸、平成 27 年度に白塚地区海岸についても同調査を行い、平成 28 年度には基本設計を実施しました。

さらに、平成29年5月の津北部地域海岸整備促進協議会総会における知事挨拶の中で、今年度は上野地区海岸の詳細設計に着手し、平成30年度には工事の着手を目指すことが表明され、いよいよ堤防整備が動き出すこととなりました。

イ 市管理漁港海岸堤防の整備

津市が管理する白塚漁港及び河芸漁港区域内の海岸堤防については、津北部地域海岸の一体的な整備を進めるため、県と市の関係部局において、それぞれの整備が円滑に進められるよう、平成26年3月に津北部地域海岸事業調整会を設置し、事業の調整をしてきました。

また、平成27年度から平成28年度にかけて白塚、河芸漁港海岸の地質調査、液状化判定を行い、その調査結果を基に平成28年度には、白塚、河芸漁港海岸の整備に係る基本計画を策定し、現在は、平成30年度からの海岸保全施設整備事業の採択に向けて、国へ要望しています。

2 道路

(1) 道路の現状

平成10年10月に地元自治会を中心とした河芸町島崎町線建設促進協議会が設立され、同協議会が県、市に対し、河芸町島崎町線の早期整備の要望活動を実施してきた結果、市道栗真海浜線以南については、平成23年度に国の直轄海岸保全施設整備事業が新規事業採択されたことから、県はこの機会に堤防と一体的に道路整備を図るため、道路整備方針を公表し、事業化に向けて動き始めました。

平成25年度には、栗真環境公園以南の海岸堤防との兼用区間が工事着手され、平成27年度に供用開始されました。

また、栗真環境公園から市道栗真海浜線までの区間についても、平成28年度から着実に事業が進められています。

なお、市道栗真海浜線から市道一色浜田線までは、市と県が協議を行い、県の下水道関連事業により施設（志登茂川浄化センター）の整備と併せて平成9年度から平成25年度にかけて2車線の道路が整備されました。

(2) 課題

市道一色浜田線以北の河芸町中別保及び河芸町上野地内の生活道路は、シーサイドタウン河芸内の市道を除き、狭小区間が多いため、車両が交錯し混雑の原因となっており、地元から早期の道路整備が望まれています。

(3) 整備の方向性

市道一色浜田線からシーサイドタウン河芸までの区間において、交互通行可能な道路を整備することで、この地域の円滑な通行が確保され、利便性の向上につながるものと考えます。

このため、平成30年度に三重県が上野地区海岸の堤防工事に着手するこの機会を捉え、兼用工作物として堤防に道路機能を持たせることにより、効率的かつ経済的な道路整備が期待できることから、堤防と市道の一体整備が可能となるよう事業化に向け県と協議を進めます。

なお、漁港区域の市道については、今後、堤防整備が事業化される際に、堤防と市道の一体整備が図られるよう関係機関と協議を進めていきます。

